

## 笠間市議会の新体制がスタート

昨年11月17日の自主解散により、議員全員が失職したことに伴い、笠間市議会議員一般選挙が12月24日に行われ28名の議員が誕生しました。

年が明けた1月5日に平成19年第1回笠間市議会臨時会が開かれ、正副議長をはじめ、各常任委員会委員、議会運営委員会委員や一部事務組合議会議員などが選出され、笠間市議会の新体制がスタートしました。

今回は、2ページから4ページにかけて市議会の体制についてお知らせいたします。

### 正副議長 あいさつ



副議長  
萩原 瑞子



議長  
石崎 勝三

先の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により私も兩名が正副議長に選ばれたことは、この上ない光栄に存じると同時に責任の重大さを痛感しているところでございます。

笠間市は、昨年3月19日、1市2町が合併し人口8万1千人余の県内で11番目の人口を有する市として誕生し10ヶ月が経過したところであります。

少子・高齢化が進み、団塊の世代の定年退職者が増え労働人口が減少するなどの社会現象の中で、新生「笠間市」のまちづくりとして「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」の基本理念を基にまちづくりを努めているところであります。

われわれ市議会としても執行部と共に、今年度の干支の猪にちなみ、ためらわず目標に向かう「勇往邁進」の心構えで8万1千人余の市民の負託にこたえていきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。